

教科	算数	単元名	算数で読みとこう
----	----	-----	----------

## 本時のねらい

・棒グラフや折れ線グラフを考察し、問題解決能力や情報処理能力を高める。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・分析整理したデータを言語化し、考えをまとめる。  
・ジャムボードを使って友だちと意見を共有することで、課題を多面的にとらえて考察することができる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型提示装置                      ・ジャムボード (Google)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを知る。</li> <li>めあて「データをもとに問題について考えよう」</li> <li>・折れ線グラフを記入する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値やグラフを大型提示装置に映し、「食べ残し」についての課題を知る。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・折れ線グラフや棒グラフを考察し、課題の意見が正しいかを検証し、自分の考えをジャムボードに入力する。</li> <li>・ジャムボードを見て、グループごとに意見をまとめる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャムボードを使うことで、友だちの考えの比較や参照が容易になり、解決の根拠となる情報を考察しながら、対話的に課題解決に取り組むことができる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことを発表する</li> <li>・他の班のジャムボードの意見も参考にしながら、課題を解決するためには、他にどんなデータがあればいいかを考える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 本時の課題を知る



【写真2】 自分の考えを入力する



【写真3】 足りないデータを探す

## 児童生徒の反応や変容

本学級の児童はタブレットを活用して学習することが好きな児童が多い。4年生になって文字入力が速くなり、友だちとの意見交流がより活発になり、積極的に学習に参加する児童が増えてきた。そのような機会が増えることで、これまで自分の考えを表現しきれなかった児童が友だちの意見を参考にし、意見を提供できるようになってきた。本時のような、分類整理する場面をタブレットで行うことで、友だちの意見が構築される過程に目を向け、それを手掛かりに自分の考えをまとめていく児童も増えてきている。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

一人で考えることが難しかったり、考えがあったとしても友だちに伝えることができなかつたりする児童がいても、ジャムボードを使うことで、一人ひとりが考えを持ち、それをもとに意見交流につなげることができる。ジャムボードなどを使って意見交流を行う際には、本時のように、根拠の多様性に気づかせたり、認め合って価値づけたりすることを大切にしていきたい。データから読み取れることを根拠にして、自身の生活経験に落とし込んで解釈・判断したこと、その価値を強調していくために、友だちの意見を参考にできるジャムボードは有効なツールだと考える。